

市立武蔵野会館

臨時号

あいスポット プレス

発行元 市立武蔵野会館運営協議会
 責任者 会長 座間 康臣
 事務局 昭島市市民部生活コミュニティ課
 042-544-5111

CONTENTS

- P 1. 地域の課題を解決する「防災編」
- P 2. 自治連の取り組み A-net、会館避難訓練、定期総会案内

防災編

地域の課題を解決する 拠点として活動する

市立武蔵野会館運営協議会では、設立以来「安全まちづくり委員会」「美しいまちづくり委員会」「心とからだの健康づくり委員会」「武蔵野会館まつり委員会」の4つの委員会活動を、また平成24年度からは「防災委員会」を加え、現在5つの核となる委員会を中心に活動を展開し、地域の共通する課題に取り組んでいます。

全国各地で発生している地震・台風・豪雨などの災害をきっかけに「安全で安心な暮らしの大切さ」

があらためて認識され、地域の防災に対する関心が高まっています。昭島市でも平成25年度に昭島市地域防災計画が見直されました。

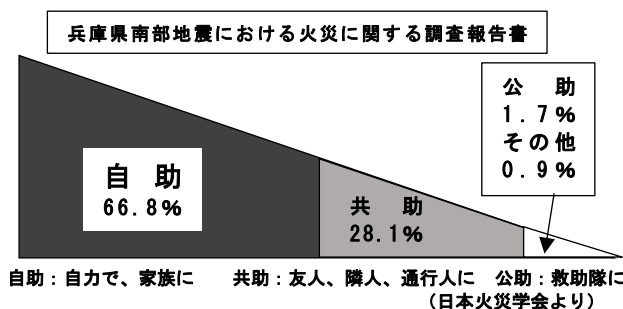
武蔵野会館運営協議会は、平成24年度から2回にわたって自治会連合会15ブロックと足並みをそろえて「15ブロック地域合同防災訓練」を行いました。

今後も、15ブロックと連携して地域防災力の強化に努めてまいります。

■自助・共助の重要性と公助の限界

平成7年に阪神淡路大震災、平成23年に東日本大震災と短期間に二つの大きな地震に見舞われ、その影響から日本付近にある4つのプレートや地震の震源となる活断層の活動が以前と変わったと専門家が言うようになりました。大地震を体験した地域の住民の多くは、ここには「地震は来ないだろう」「津波は来ないだろう」という安全神話を信じていました。しかし、実際はそれを上回る事態が地域を襲いました。

「阪神淡路大震災で倒壊家屋の下敷きになっている人を助けたのは95%が地域住民であったことを忘れてはならない。このことで消防・警察・自衛隊等の公助の限界を知りました。ならば「自分たちの地域は自分たちで守る」しかない、共助の重要性がわかってきました」(神戸市・野村 勝さん 平成25年まちづくり昭島北第2回合同防災訓練より)



地震の初期微動～カタカタと小刻みな揺れ～がきたら命を守る行動を



- ◎家の中の安全ゾーンに逃げます(すぐに逃げられる玄関、階段、窓の近く)
- ◎揺れがひどくなったらじっとしているのではなく、自分の身の安全を確保する。
- ◎地震だ！大きな声を出すことで、体が動くようになります。

■自治連の取り組み A-net

各自治会を通じて配布された、またはこれから配布される自治会 A-net カードは、大災害の時に自治会地域ごとにスムーズに避難できるように昭島市自治会連合会が作成したものです。一次避難場所は地域の小学校・中学校です。どこの避難所に避難をするのかは、今まで各家庭に一任されていました。

改訂された「昭島市地域防災計画」では、避難の混乱を防ぐために、公立の小中学校 21 校に「避難所運営委員会」の設置が明記されました。この「避難所運営委員会」は地域と学校と行政とが共に取り組む新しい共助です。カードが配られたら、避難所である小中学校を確認し、一度地域の防災訓練に参加してみましょう。

15 ブロック地域合同防災講演会講師の災害防災研究所・山村武彦先生は「防災隣組と近所の精神」を提唱しており、「身体が元気なうちは助けられる人から助ける人へ、立ち位置を変えていけばずっと住みつづけたいまちになる」と言っています。



各家庭で3日間は、自給自足できる物品を備蓄しよう! No. 193216

自治会名 (地域)		グループ	班
あなたの避難場所は			
氏名			

あきしま/あんぜん・あんしんネットワーク～A-net 防災隣組～

■武蔵野会館消防訓練

平成 26 年 3 月 26 日 武蔵野会館消防訓練をおこないました。火災はいつ何が原因で起こるかわかりません。災害時に二次避難所となる武蔵野会館は年に 1 度の消防訓練を実施しています。



午前 10 時、実習室 1 より出火という想定で、通報訓練を行い、館内にいる利用者を非常口から館外へ誘導しました。最後に、昭島消防署大神出張所より管理員全員が消火器使用の指導を受けました。

■武蔵野会館運営協議会定期総会

来る 5 月 18 日 (日) 15 時より武蔵野会館におきまして市立武蔵野会館運営協議会第 9 回定期総会を開催いたします。



関係各団体等にはすでにご案内しております。各団体 2 名のご参加をいただけますように、また、万一欠席の場合は委任状を会館窓口にお預けいただけますようお願いいたします。